

羽津中学校



<所在地>

〒512-0012 四日市市羽津甲 26

TEL 059-330-0048

1 読書活動について

学校づくりビジョンに「将来に希望を持ち、やる気を持って実践する生徒の育成～本と歌声とありがとうがいっぱいの学校～」を掲げ、令和5年度は年間貸し出し冊数5,000冊を目標に活動に取り組んだ。朝の読書を毎日行い、10分間静かな状態で読書する時間を確保している。

(1) 読書活動の推進

ア 図書室の机や椅子の配置の工夫

居心地の良い図書室を目指し、机や椅子の配置を工夫した。授業活用しやすいように、机を1つ1つ離し、班ごとに机が使えるようにした。また、図書室に入ってすぐの机に本を設置し、本に迎えられる図書室を実現した。

イ 貸し出し冊数の視覚化

図書室前の掲示板には、各クラスの貸し出し冊数と学校全体の貸し出し冊数を視覚化した表を作成し、貸し出し冊数の増加を後押ししている。



(2) 授業での活用

ア オリエンテーション

1年生を対象に図書室の使い方や本の借り方、返し方などを学んだ。

イ マッチングブック

お題に合う本を表紙と題名から選び、お題と合っているかを読んで確かめる企画を行った。

3 読書後の表現活動について

(1) クラス単位での取り組み

本校では、1学期と2学期に生徒全員が1分間の読書スピーチに取り組んでいる。その学期内に朝の読書や家庭読書で読んだ本について、400字程度でまとめ、班内でそれぞれがスピーチを行い、自分が読んだ本の魅力やおすすめの原因を伝える活動を行っている。また、各班で代表者を1人決め、各班の代表者はクラス全体の前で発表し、投票によってクラス代表者を決めている。生徒の中には、より良い発表を目指して、自主的に最初のスピーチの内容から変更を加える等の工夫をしている生徒もいる。

(2) 学年での取り組み

クラス代表になった人は、学期末の学年集会で発表を行う。発表の際には実際の本を準備してくる生徒もいる。その後、学年の職員や生徒で投票を行い、学年代表者を決定している。

(3) 学校全体での取り組み

各学年の代表者は、学期末の全校集会で、最初に発表を行う。全校生徒の前で話す機会はなかなかないため、生徒は緊張しながらもしっかりと発表をしている。発表後には、教師から講評を行い、全体に向けてさらなる読書活動の推進を声掛けしている。



4 成果と課題、今後の方向性について

成果として、目標に掲げた5,000冊に到達し、生徒の貸し出し冊数が前年度より倍以上となった。一方、課題としては、学年が上がるごとに貸し出し冊数が減少傾向にあり、家庭読書の推進ができていなかったことが挙げられる。

来年度は、家庭読書の推進に力を入れ、家でも読書活動を行い、保護者にもその姿が伝わるよう工夫をしていきたい。